



# 第2回 津市中学生人権フォーラム

平成27年10月4日 津市勤労者福祉センター(サン・ワーク津)

10月4日、第2回津市中学生人権フォーラムが開催されました。当日は62人の中学生の参加があり、「昨年度参加して楽しかったから」「もっと人権について、たくさんの人と話したいから」と昨年度に引き続き参加してくれた中学生もいました。

まず、参加者は10のグループに分かれ、自己紹介を行った後、いじめや差別の構造を疑似体験しました。各グループには、人権を大切にする活動に取り組む中勢地区高校生友の会や津市反差別青少年友の会(以下、津友)のメンバーが入り、中学生が話しやすいようにコーディネートしてくれました。

次に津友の青年が自分の経験を通して、「自分の中の差別心とどう向き合ってきたか」「自分にとっての差別を許さない生き方とは何か」について話し、その中で仲間の存在の大切さや人とのつながりの温かさを中学生に伝えてくれました。その話をもとに、参加者一人一人が自分の経験と結びつけながら、いじめや差別をなくすために大切にしていることや、今考えていることをグループで話し合いました。



つながりカフェの様子



## ～参加者の感想から～

- ★自分が知らないうちにしている差別について、気付くことも大切なことだけど、それ以上に自分がしてしまった差別と向き合うことが大切だと思った。
- ★差別とはどういうものなのか、どうしたらなくせるのか、たくさん考え、意見を出し合えてすごく良かったです。これからどう行動していくかも考えられました。話も聞いてもらえてうれしかったです。
- ★いろいろ人権のことが話せてうれしかった。ここで話したことを、家に帰ったら話したいと思った。
- ★自分たちが変えることのできるものに勇気を出して進んでいく心が大切なんだと改めて感じました。



今回も中学生のさまざまな思いを聞くことができました。他の人の話を聞きながら今までの自分を振り返り、これからどんな活動をしていくか真剣に話し合う姿が見られました。

昨年度のフォーラム後に、「自分たちの中学校でもこんな話し合いがしたい」と人権サークルを立ち上げた中学生がいました。今回のフォーラムでも、参加した中学生たちは、いじめや差別を自分のこととして捉え、「行動していかなければ」と感じていました。学校、地域でも差別を許さない仲間の輪が広がっていくことを、参加者一人一人が実感できるフォーラムとなりました。